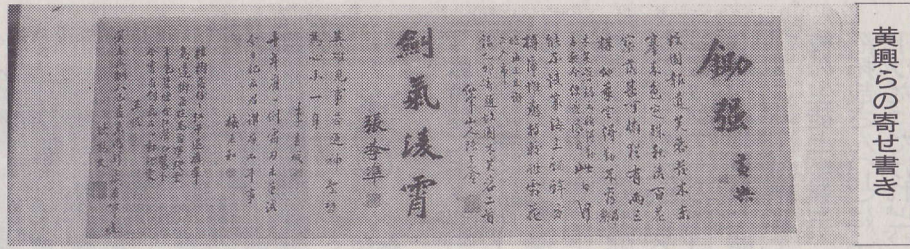


# 辛亥革命2大指導者、書並ぶ

大崎の吉野作造記念館

黄興らの寄せ書き



孫文の書=いずれも大崎市古川福沼

大崎市古川の吉野作造記念館で、辛亥革命を主導した黄興(1874~1916)の書が26日に限って公開された。同館では、革命を指揮した孫文(1866

~25)の書が昨秋から展示されており、2大指導者の書が並んだ。ともに吉野が本人から贈られた。佐藤弘幸学芸員は「民意を反映した政治体制

をめざす人々に、吉野が深い共感を抱いて交流したことを示す」と話す。

黄興は11年からの辛亥革命で軍を導き、臨時大統領となる孫文を支えた。書は同志との寄せ書きで、16年ごろに日本で吉野に渡した。当時、黄らは袁世凱大統領の打倒をめざして活動中。題字の「鋤強」は同館によると、帝政を企てた袁を滅ぼす決意を示す。

大きさは額も含めて横約110センチ、縦30センチ。2004年に吉野家から贈られ、1カ月ほど展示したことがある。しかし、劣化が激しいため、収蔵庫で保管していた。同館でこの日、日中関係発展に向けた講演があったのを機に公開した。

孫文の書の「天下為公」は「天下は君主個人のものでなく、公民のもの」という意味。亡命中の孫文が東京で演説したあと、吉野に頼まれて揮毫したと同館はみる。記念館は黄の書も修復し、常設展示をめざす。